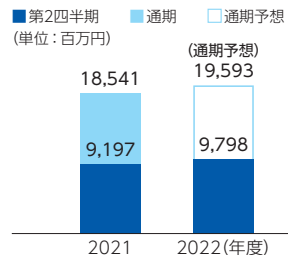


決算ハイライト

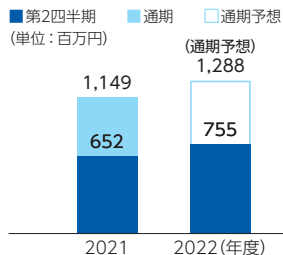
売上高

9,798 百万円
(前年同期比 6.5%増)



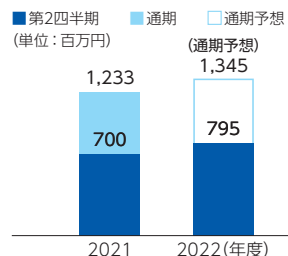
営業利益

755 百万円
(前年同期比 15.8%増)



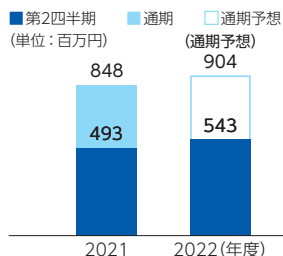
経常利益

795 百万円
(前年同期比 13.6%増)



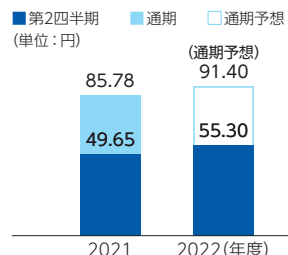
四半期(当期)純利益

543 百万円
(前年同期比 10.0%増)



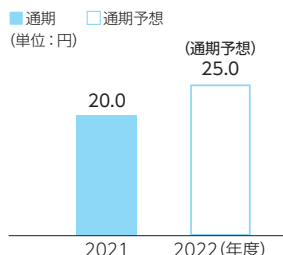
1株当たり四半期(当期)純利益

55.30 円



1株当たり配当金

25.00 円



株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式の総数 11,200,000株
株主数 3,752名
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
安藤文男	1,518	15.59	現当社代表取締役社長
アイエックス・ナレッジ株式会社 I K I 持株会	897	9.22	
株式会社三菱UFJ銀行	214	2.20	
株式会社千葉興業銀行	203	2.09	
有限会社エム・ビ・エス	200	2.05	
三井倉庫ホールディングス株式会社	200	2.05	
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	194	1.99	
光通信株式会社	144	1.48	
春日正好	94	0.97	現当社エクゼクティブアドバイザー
楽天証券株式会社	93	0.95	

(注) 1.当社は、自己株式1,457,532株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月に開催
同総会議決権行使株主確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日 (中間配当を行う場合)
その他の基準日 上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定いたします。

公告掲載URL 当社ホームページ
<https://www.ikic.co.jp/>
に掲載いたします。(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都府中市日鋼町1番地1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所スタンダード市場

アイエックス・ナレッジ株式会社

〒108-0022 東京都港区海岸 3-22-23
TEL.03-6400-7000 (代表) FAX.03-6400-7900



証券コード 9753



IX Knowledge Inc.

アイエックス・ナレッジ株式会社

REPORT

第45期 第2四半期

2022年4月1日～2022年9月30日

株主通信



最新ニュースや決算情報等は当社ホームページの「IR情報」をご覧ください。



代表取締役社長
安藤 文男

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、ワクチン接種の進展等に伴い経済活動の制限が緩和され景気回復の兆しがみられた一方で、急激な円安による物価高騰や感染再拡大の懸念等により、先行き不透明な状況が続いています。そうした中、当社は引き続き、従業員やパートナー企業の皆様の安全を最優先として事業活動を推進しております。

このたび、アイエックス・ナレッジ株式会社2022年度第2四半期(2022年4月1日~2022年9月30日)の決算を終了いたしました。ここに業績・トピックスなどをご説明する「株主通信」をお届けいたします。本誌を通じて当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<2022年度第2四半期トピックス>

- 4月**
 - ・組織再編
→先端技術を当社ソリューションへ取り入れていく取り組みを強化するため、ビジネスイノベーション室新設(オープンイノベーション戦略事業部を改組)
 - ・新入社員82名入社
 - ・おかえりなさい制度導入
- 5月**
 - ・大手ベンダー様、情報システム会社様 各1社から表彰
 - ・大手ベンダー様、情報システム会社様 各1社からパートナー認定
 - ・情報システム会社様1社から感謝状
- 6月**
 - ・譲渡制限付株式報酬制度導入
- 7月**
 - ・大手ベンダー様1社からパートナー認定
- 8月**
 - ・自己株式の取得開始(2022年8月1日から2022年12月23日まで)
 - ・取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分
 - ・ジャパンインターナショナルシーフードショー出展、セミナー登壇

■ 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2022年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2021年度 第2四半期累計)
売上高	9,798	9,197
売上総利益	2,011	1,868
営業利益	755	652
経常利益	795	700
税引前四半期純利益	791	718
四半期純利益	543	493

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

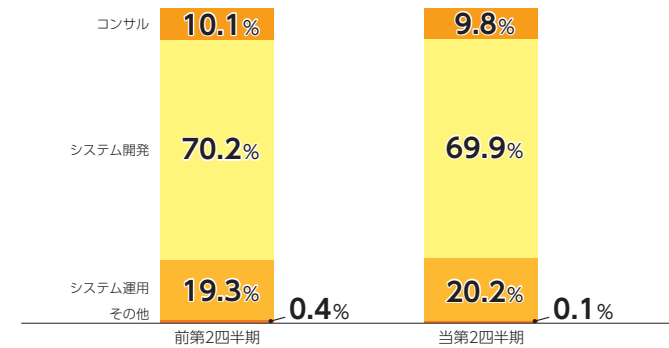
科目	当第2四半期末 (2022年度 第2四半期会計)	前期末 (2021年度)
資産の部		
流動資産	8,242	8,154
固定資産	3,046	3,055
資産合計	11,288	11,209
負債の部		
流動負債	2,740	2,941
固定負債	1,995	2,002
負債合計	4,735	4,943
純資産の部		
株主資本	6,193	5,921
評価・換算差額等	359	344
純資産合計	6,553	6,266
負債・純資産合計	11,288	11,209

■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

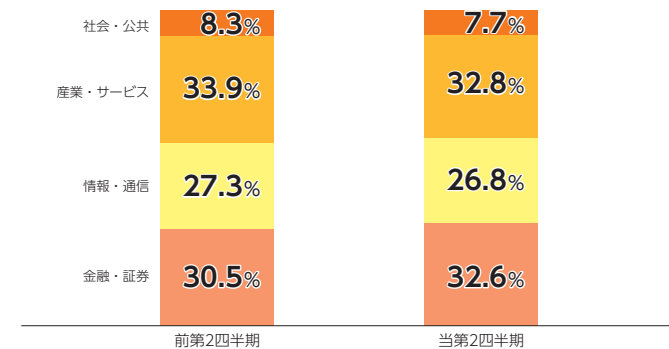
(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2022年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2021年度 第2四半期累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	202	407
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311	△233
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,715	4,673

■ 品目別売上高比率



■ エンドユーザー業種別売上高比率



ポイント解説

■ 損益計算書

売上高は、金融機関や資産運用事業者、大手ベンダー経由の開発案件、大手ベンダー経由のシステム運用・保守案件や基盤・環境構築案件の拡大により、601百万円(前年同期比6.5%)の増加となりました。利益面においても、売上高の増加に加え、適正な原価管理による原価率の低減により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増加しました。

■ 貸借対照表

前期末に比べ、資産については「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加により増加、負債については「未払金」の減少により減少し、自己資本比率は、55.9%から58.0%となりました。

■ キャッシュ・フロー計算書

営業活動で得た資金を、投資活動(固定資産の取得)、財務活動(配当金の支払、自己株式の取得、長期借入金の返済)で支出した結果、現預金残高は4,715百万円となりました。